

2010年9月9日

日本腎不全看護学会

会員各位

院内感染対策の徹底と速やかな情報の共有・開示を

日本腎不全看護学会
リスクマネジメント委員会
委員長 佐藤久光

多剤耐性アシネトバクター・バウマニ等をはじめ、多剤耐性菌が全国に広がっていることが危惧されています。これは、免疫力の低下しているCKD患者にとっても重大な脅威です。抗生物質の効かない肺炎などの感染症の患者が出た場合、このことを念頭においた院内感染防御体制の徹底が求められます。いま一度、感染対策の徹底と、情報の共有・開示が求められています。

以下に厚生労働省医政局指導課から平成22年9月6日付で出された都道府県等に出された事務連絡についてのURLを示します。ご確認願います。

http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/i-anzen/hourei/dl/100907_1.pdf

<多剤耐性アシネトバクターについての情報>

①国立感染症研究所感染情報センターで検索（感染報告事例を含め専門的に解説）

(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)

(順番にクリック)

サーベランス → IASR（病原微生物検出情報）→ 月報（IASR）→ Vol.31 No.7
(No.365) July 2010 多剤耐性アシネトバクター

②横浜市衛生研究所で検索（健康人の保有率や感染対策等わかりやすく解説）

(<http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/eiken/>)

新着情報の中の「平成22年7月29日アシネトバクター感染症についてを更新しました。」をクリックする